

立地適正化計画住民説明会に係る主な意見について

番号	意見等	町の考え
1	都市機能誘導区域に大きな建物が建設される場合、インフラ等も合わせて整備されるのか。	誘導施設の立地に合わせてインフラ整備を実施する必要がある場合は行うことで考えている。
2	町内は地価が安く広い土地を取得できるため、家庭菜園等ゆとりある住まいを求め、定年した高齢者を呼び込めると思うが、そのような施策は考えていないのか。	当計画において、町の利点である都市部ではできない、ゆとりある宅地を提供していく方針としている。
3	多世代が集える交流施設を望む声が多い。	当計画において、多世代が交流できる場の創出はまちの賑わいや活性化に重要と考えており、老朽化している公共施設の更新の際に検討していきたい。
4	太美駅の線路で南北に分断されており、南北で交流できることが必要と感じているが、南側の土地利用等は町としての考えはあるか。	駅南側を都市機能誘導区域に入れており、南側の土地活用を推進していきたい。
5	CCRCの考えは加味されているのか。	区域を設定することにより補助金の活用も可能となるなど企業参入を進めるための土台となる計画である。
6	防災や災害についてどのように考えているのか。例えば、石狩川が氾濫したら水害になる。スウェーデンヒルズなどの高台に避難所を設置してほしい。	浸水想定区域もつについては、防災体制の強化や迅速な情報伝達手段の拡充の検討することで、誘導区域内に含めることとする。また、浸水防災ハザードマップに水害時の避難所が記載されている。
7	学生向けアパートの建設は民間事業者が行うのか。	昨年民間事業者による50戸の大きな集合住宅が建設され、今後の建設予定もある状況。誘導施策に基づいて、民間事業者の誘致を検討することで考えている。
8	人口減少が進んでいるなか、目標人口を2万人としているのはどうなのか。	立地適正化計画は、一定期間人口が減少した時にも耐えられるまちにする計画である。ただし、この計画を推進することで、まちの魅力を高め、住みやすいまちとすることで、人口増加につなげることを目指しています。
9	学生の町内居住より、子育て世代を呼び込む方が効果が高いのではないのか。	誘導施策に記載のとおり、学生がまちに住むことによる町の賑わいは大切な要素です。また、子育て世代を呼び込む施策についても、誘導施策としております。